

学生だより

平成22年1月25日発行(年2回・7月、1月)
発行人/金澤紀子
発行/社団法人日本歯科衛生士会
〒169-0072 東京都新宿区大久保2-11-19
TEL.03(3209)8020 FAX.03(3209)8023
<http://www.jdha.or.jp/>

情報力を高めよう 絆を大切に



東京医科歯科大学



兵庫歯科学院専門学校



栃木県立衛生福祉大学校



佐賀歯科衛生専門学校

P6、7に各校の学校紹介、学校自慢を掲載しています。

専門性を高め、歯科衛生士の未来を輝かせよう!

社団法人日本歯科衛生士会
副会長 相川 敬子



近年、歯科保健医療ニーズの多様化に伴い、歯科保健医療の担い手である歯科衛生士の資質の向上が求められるようになりました。平成17年、歯科衛生士学校養成所の指定規則が一部改正され、22年度から全国すべての歯科衛生士養成機関は3年制以上となります。4年制大学も増え、大学院において学ぶ歯科衛生士も増えています。恵まれた教育環境の中で、歯科衛生士としての専門性を高めるために多くの知識や技術を身につけ、輝く未来に向かって羽ばたいていかれることでしょう。卒業後も学ぶ力を継続して人々の口腔保健の向上を担う歯科衛生士として成長されることを願っています。

日本歯科衛生学会第4回学術大会が開催されました

平成21年9月19日(土)～21日(月・祝)、大阪府枚方市の大阪歯科大学楠葉学舎で、日本歯科衛生学会第4回学術大会が盛大に開催されました!

今大会のメインテーマは「歯の健康力 フロントイヤー―食べる、話す、生きる力を支える口腔機能―」。

快晴に恵まれた当日、会場には全国から大勢の参加者が集まり、特別講演、シンポジウム、口演・ポスター発表、市民フォーラムなどのプログラムに目を輝かせていました。業務や研究、学習への大きな励みとなる、充実の3日間でした。



秋晴れにまぶしい楠葉学舎。広々とした中庭が印象的です。



受付も準備万端！全国の皆さんをお迎えます。

大阪府歯科衛生士会の皆さん



講演やシンポジウム、口演・ポスター発表など、どの会場にも大勢の参加者が溢れていました。質疑応答にも熱が入ります。



期待と緊張に満ちた空気の中、いよいよ学術大会の幕開けです!

開会式

楽しくてためになる、食育の講演。時間はあっという間に過ぎてしまいました。



市民フォーラム



大阪府歯科衛生士会の皆さんの企画による懇親会風景。充実した3日間が終わり、来年の開催地である千葉県へとバトンが渡されました。

出 会 い こ の 人

File 4

星野 友信さん

(東京都歯科衛生士会・
東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科・
東京医科歯科大学小児歯科外来)

第4回目の「出会いこの人」は、男性の歯科衛生士で、4年制大学を卒業し、歯科衛生士免許を取得後、大学院に進学された星野 友信さんをご紹介します。

大学院での研究だけではなく、附属病院の小児歯科外来で臨床についても勉強されている星野さん。

女性に比べてまだまだ数が少ない男性歯科衛生士。日々の業務や研究について、今後の進路等についてお伺いしました。



小児歯科医療現場でのやりがいと魅力

現在、私は東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科の、小児歯科分野に進学しています。日々ここで、歯科衛生士として小児歯科の外来に出たり、研究を行っています。子どもが相手のこの現場は、「驚き」と「裏切り」にあふれた、学びの連続だと思えます。

「驚き」も「裏切り」も、子どもの成長や多様性によるものですが、前者では、例えば同じ月齢・年齢の子どもでも言葉の数や身体能力といった、発育程度が違うことが挙げられます。同じ年齢の子どもでも、話す言葉の量や内容、できることの幅は、本当に様々です。後者では、いつも泣いていたような子どもで、こちらが精神的にも体力的にも苦しんでその日の診療を終えたとします。それにも関わらず、1週間後に続きの診療をする際には、こちらの予想を裏切って全く泣かずに診療させてくれて、その後もずっと上手にできたりするのです。

このような、子どもの成長に触れるにつけ、未知の可能性を信じずにはいられませんし、それが日々の研究や暮らしを送る中で、良い刺激になっています。

歯科衛生士を目指したきっかけ

いまでこそ、このように充実した毎日を送っていますが、私が歯科衛生士になろうと思ったきっかけはほんの些細なものでした。もともと人と接する



仕事がしたいと思っていたことから、医療系の学校を探していた私は、取り寄せた資料の中から、それまで見たことの無い分野があることを知りました。

私は東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科という、同大学歯学部附属の歯科衛生士学校を前身にもつ学科で大学時代を過ごしました。「口腔保健」ということばに遭遇したのはそのときが初めてで、歯科衛生士の知識自体も、歯医者さんから歯磨き指導を受けた記憶があるくらいでした。

小さい頃からう蝕を繰り返すなど、口の健康に対して不安の強かったことと、男性の少ない、未知のフィールドに可能性を求めて、私はこの道に進みました。

恩師の教え

母校ではある恩師から、「口の健康を通して、全身の健康を考える」ことを学びました。また別の恩師からは「口の健康を守る事が、その人の人生をどう良くするのかを考える」ことを学びました。これは、自分が目指す歯科衛生士の本質になっていると思います。

大学院での研究と今後の取り組み

私はいま、若い人がどれだけ自分の口の健康に興味をもっているのか、などの研究を行おうとしています。しかしそれは、口の健康だけに限らず、全身の健康に対する興味や、人生を通しての保健行動の基礎を築くには、どんな角度からアプローチするべきかを考えることにつながるのだと思っています。



研究が終わって、大学院を卒業し、そこから自分がどのような仕事をしていくかは、これから決めていくつもりです。これまで諸先輩方が作ってくださった道を通して、より発展させたり、後輩のために、道を少しでも広げるようにできれば、というのも1つの考え方だと思います。

住民（国民）の口の健康を考える上で、歯科衛生士がもっと身近な存在としてその専門性を発揮できること、また、そのために何かできることがあれば、力を発揮できるようにしていきたいと思っています。



◎プロフィール



星野 友信さん

2005年 東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科入学
2009年 同卒業、東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科修士課程入学

輝け未来の歯科衛生士

全国の学生さんを紹介します！

青森歯科衛生士専門学校
2年
須藤 志保さん



1 13年間、歯科助手として仕事をしていましたが、育児休暇中に自分自身のこれまでと、これからを考えてみました。仕事をするなら歯科、そして一生続けていきたいと思い、一から勉強をし直して、より深く広く知識を得たいと意欲がわき、是非、歯科衛生士になりたいと思いました。

子供がまだ小さいので、どうしようかと悩んでおりましたが、「協力するから、頑張れ。」と、主人や家族に励まされ、入学を決意しました。



2 歯科医師のアシスタントというイメージでしたが、実際にはあうんの呼吸での器具出し、薬品の準備はもちろん、治療内容について意見を言い合っていたり、患者様が歯科医師よりも歯科衛生士さんに相談していたりと、歯科医院にとって大変大きな存在という事に気付きました。

3 子供の事、勉強の事と入学前は不安だらけでしたが、家族や保育園、先生方の理解や協力のおかげで、とても楽しい学校生活を送ることができ、感謝の気持ちでいっぱいです。育児との両立は大変ですが、クラスメイトと過ごす学校生活が残りわずか、寂しくなります。

4 歯科助手としての経験から、様々な悩みを抱えている患者様がたくさん来院されることを認識しています。その多種多様な悩みを、その方のライフステージに合わせて改善、維持していく手段をアドバイスできるようにになりたいと思います。

また、学校に入って感じた事は、私達の一つ一つの処置や言動が、患者様にとっての全身の健康にまで結びつくということです。どんなに多忙でも、その事を忘れず、機械的にならずに対応していきたいと思います。患者様から学ぶことも多くあると思いますので、卒業してからも日々勉強と努力を心掛けていきたいです。

茨城歯科専門学校
3年
儀武 遥さん



1 実は私は、高校3年の初め頃まで違う進路を目指していました。しかし安定しない世の中なので、何か生涯使える「資格」を身につけたいと思うようになりました。そんな時、歯科衛生士である年上の友人がこの仕事の良さについてよく話してくれました。女性が生涯にわたって活躍でき、また少子高齢社会において必要とされる職業であることを知り、興味がわきました。

2 「歯医者さんの看護婦さん」というイメージがありました。ドクターのアシスタントをしたり、歯のお掃除をしたりする人だと思っていました。しかし実際入学してみると、口腔内のことだけでなく、全身の解剖学や病理学などの様々な分野の知識が必要とされるということを知り、驚きました。入学当初は専門的な科目ばかりでついていけない不安になりましたが、今はより幅広い知識と技術を持った歯科衛生士を目指して日々励んでいます。

3 私たちの学校は、口腔センターと隣接しているため、普段見ることのできない障害者の歯科診療や摂食訓練などを実際に見たり、障害者の方々と接する機会に恵まれています。また、東京歯科大学の先生方にご協力いただき、解剖学の見学実習をはじめとして、多くの貴重な体験をすることができています。そして、年に2回親睦会があり、スポーツなどを通して他の学年と交流する機会となっているので、他学年の人とも仲良くなり、その後も実習などの情報交換もできています。

4 患者さんにとって歯科衛生士とは、「医師に直接話しにくいことを気軽に相談したり質問したりできる相手」であると思います。ですから私は、歯科的な技術だけでなく、コミュニケーション能力に優れた歯科衛生士になりたいです。よい聴き手・相談相手となり、患者さんと「共に」口腔の健康を目指す歯科衛生士になりたいです。



今回も全国の4名の歯科衛生士学生さんをご紹介します。

みなさん、とても楽しい学生生活を過ごされていますね。

『将来どんな歯科衛生士になりたいですか』の間に専門性だけでなく、コミュニケーション能力などの人間性について触れられていることはとても大切なことですし、頼もしいですね。

◎アンケートの内容

- Q1. 歯科衛生士を目指した動機
- Q2. 今までの歯科衛生士に対するイメージ
- Q3. 学校生活について
- Q4. 将来どんな歯科衛生士になりたいですか？



湘南短期大学歯科衛生士学科
1年
齋藤 美和さん



1 歯科大学新卒の夫と25歳で結婚し、その後、夫が開業、5人の子供をもうけました。昨年夫が急逝し、後を継いでもらった義弟に「15年も携わりながら何もできない」と指摘されたのがきっかけです。事務仕事はしてきましたが、診療室では洗い物程度しかしてきませんでした。するならしっかりした知識と技術がないと怖いと思いました。

2 私が子供の頃通院していた歯科医院は先生が会計までお一人でなさっていたので、患者さんの立場では、よくわかりません。ただ、小学生の時に保健室の先生が本学の先輩で、歯科衛生士の指導に大変熱心で、保健委員の私も虫歯の紙芝居を作って、朝礼台の上で発表した覚えがあります。

3 湘南短期大学では、できるまで指導するという姿勢が徹底しています。実習も座学も、試験は合格できるまで面倒をみてくれます。社会に出るところはいきません。

毎日がとても楽しく充実しています。子供と同年代の同級生に名前と呼ばれ、隔たりなく付き合ってもらいます。とても可愛く、頼もしい存在です。一分一秒が宝物です。



4 看護師さんの仕事にお医者さんが必ずしも立ち入れない分野があるように、歯医者さんが必ずしも立ち入れない分野の持てる歯科衛生士になりたいと思います。特化された職域の持てるプロの歯科衛生士になりたい。患者さんの心理・生活状態を把握したうえで補助、指導等です。道は遥かに遠くで厳しい。頑張ります。

三河歯科衛生専門学校
2年
永石有希子さん



1 子どもの頃、歯科医院へ通院したときに、タービンの鳴り響く音がとても怖く、不安や緊張でいっぱいでした。しかし、そんなときに優しい笑顔で話しかけてくれた人がいました。その人は歯科衛生士で、「いつか私もこんな仕事に就きたいなあ・・・」と憧れをもったのがこの職業を目指したきっかけになっています。



2 歯科医院でお手伝い的な仕事をしている人で、助手との区別さえよくわかりませんでした。その後、パソコンなどで調べるうちに、保健指導や予防処置など歯科衛生士の専門性は高く、口腔領域の疾患の予防にはなくてはならない存在だと知り、単にアシスタント業務だと思っていたイメージとは大きく違いました。

3 入学した頃、専門分野の勉強についてとても不安に感じました。しかし今は、同じ夢を目指す仲間達と励まし合いながら、テストや実習を頑張っています。私のクラスは年の差も関係なく、皆仲がよく賑やかで毎日がとても楽しいです。これから先、大好きなクラスの皆と国家試験全員合格を目指して頑張っていきたいと思っています。

4 私は「予防歯科」の分野で活躍できる歯科衛生士を目指したいと思います。「自分の歯を守る大切さ、そのためには何をどうすればよいか」ということを多くの患者さんに知っていただけたらと思います。私自身ももっと勉強し、確かな知識・技術・人間性を身につけ、誰からも信頼される歯科衛生士になれるよう努力したいと思っています。

4年：歯学科6年との合同授業。1事例について、歯科診断・歯科衛生診断や治療計画・歯科衛生介入について議論。

充実した臨床・臨地実習。小学校での健康教育実習。準備は大変でも、子どもたちとの対話が楽しい。



メデイア情報基礎学や卒業研究の文献検索など、パソコンを利用してもインターネット使用可能な環境となつています。

一流：四年と教員の交換です。目的は親睦と情報交換です。



前身は、昭和二十六年創立の歯科衛生士学校。本学科は平成十六年設立。小規模な学科ですが、ユニークな人材の宝庫です。学年混合授業や歯学科との合同の授業があることも、特色の一つです。

東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科



海外研修報告会、スウェーデン、オランダ、アメリカなどで、独力で一カ月間学んだ内容を、口演。

社会福祉関連実習・障害者施設における健康教育実習。



小学生対象の健康教育：3年が主。2年は見学を兼ねて、一緒に実習。



1～3年 PBL テュートリアル：問題発見・解決能力の養成。自学自習の習慣を育てます。

栃木県立衛生福祉大学 歯科技術学部 歯科衛生学科



2年生による1年生への保健指導



学生相互での口腔内撮影実習

本校歯科技術学部歯科衛生学科は平成20年度から3年制課程になりました。現在は、1・2年生それぞれ30名と少人数の学科です。来年の春に新生が入学すると、3年制となってから初めてすべての学年がそろるので、今からとても楽しみです。

本校は他にも、保健師、看護師、歯科技工士、臨床検査技師の養成課程があり、新生歓迎会やスポーツ大会、学校祭など全校あげての行事の際には、力を合わせて行事を成功させました。

毎日講義や実習と忙しい日々を送っていますが、休み時にはエネルギーに過ごし、生活にメリハリをつけています。素敵な歯科衛生士を目指して頑張ります☆



誓いの式のキャンドルサービス



スポーツ大会での綱引き勝負中！



学校祭にて。1年生は模擬店を、2年生は模擬店と展示を行い、県民の方への説明をしました。



小学2年生への保健指導校外実習

START!

社団法人 兵庫県歯科医師会会立
兵庫歯科学院専門学校



本校は神戸山の手の閑静な住宅街にあり、目の前には美しい港の風景や六甲の山が心地よく広がります。創立40周年を迎え、3年制定員80名で再スタートし、来春3年制初の卒業生を送り出します。国家試験全員合格にむけて学生、教員一丸となり頑張ります。



教養を高める必修クラブは華道、茶道、書道、ピアノ、ハンドベルからの選択制となっています。



友達同士以外では初めての実習で緊張の2年生と、入学してでされるがままの1年生の合同実習



幼稚園・小学校での衛生教育実習では子供たちに歯の大切さを教えに行きます



ボウリング大会などのレクリエーションも開催し、日頃のストレスを解消します!

佐賀歯科衛生専門学校



本校は九州・米どころ佐賀県の中心部にある学校です。アットホームな雰囲気毎日賑やかに過ごしています!



修学旅行は学生達の話し合いによって、毎年行き先を決定しています。



巡回実習では、障がい者施設に何いふれあいと健診をさせて頂きます



卒業式! 3年間の苦勞と思い出と頑張りが溢れる感動の日です!



謝恩会では3年間お世話になった先生方をお招きし、皆で楽しく思い出を語り合います

入会の申し込みは…

簡単 4 Step!

step 1

ホームページから簡単申込！
入力申込フォームの入力します
<http://www.jdha.or.jp>



※ホームページを閲覧できない方は各都道府県歯科衛生士会もしくは日本歯科衛生士会までご連絡ください (0120-802039)

step 2

都道府県歯科衛生士会から
必要な書類が送付されます



step 3

入会金・会費などを
支払います



step 4

入会完了



会 費

年会費は、いつ入会しても4月1日から、翌年3月31日までの1年間で前納制になっています。
学生部からの入会は日本歯科衛生士会入会金が免除となります。

入会金 2,000円 年会費 7,000円

※都道府県歯科衛生士会ごとの会費が加わります。金額については各事務局にお尋ねください。

平成20年末 就業歯科衛生士数

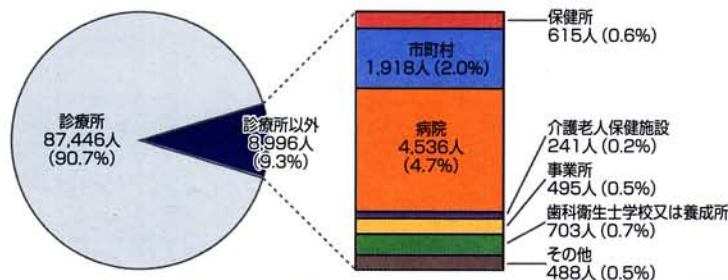
平成20年度現在の就業歯科衛生士数が厚生労働省より発表されました。

活動の場の多くが歯科診療所や病院ですが、人々の健康志向の高まりとともに歯科衛生士の活動に期待が高まっています。市町村、保健センター、介護福祉施設での求人も増えています。

日本歯科衛生士会のホームページではそれぞれの活動の場で勤務する歯科衛生士を紹介しています。

就職先を考える際に参考にしてください。

就業場所別にみた就業歯科衛生士数 (厚生労働省調べ)
※平成20年末現在



楽しい紙面作りのために、皆様のご意見や、学生生活の中での様々な情報をお寄せください。